

令和7年度昇段審査等学科試験問題

剣道

段別	問題題	
初段	1問	剣道における「三とおりの礼」について説明しなさい。
	2問	「三つの間合い」について説明しなさい。
二段	1問	「稽古で心がけなければならないこと」について述べなさい。
	2問	「四つの足捌き」について説明しなさい。
三段	1問	「打突の好機」について説明しなさい。
	2問	中段の構えの「正しい姿勢」と「目付け」について述べなさい。
四段	1問	「正しい鎧競り合い」について説明し、指導上の留意点を述べなさい。
	2問	「日本剣道形修練の必要性」について述べなさい。
五段	1問	「指導者としての心構え」について述べなさい。
	2問	「打ち込み稽古」と「掛かり稽古」の違いを説明し、「打ち込み稽古」指導上の留意点について述べなさい。
A級公認審判	1問	「有効打突」について説明しなさい。
	2問	令和6年9月1日に「剣道試合・審判・運営要領の手引き」が改正されたが、改正の要点を記しなさい。
B・C級公認審判	1問	「審判員の心得」の一般的要件と留意事項について述べなさい。
	2問	正しい鎧ぜり合いについて述べなさい。

居合道

段別	問題題	
初段	1問	あなたの居合道に対するイメージ(心の中に思い浮かべる姿・像)を述べなさい。
	2問	全剣連居合の「作法(礼法)」について述べなさい。
二段	1問	全剣連居合修業の目的を述べなさい。
	2問	一本目「前」の要義を記し、注意することを述べなさい。
三段	1問	全剣連居合と剣道の関係を述べなさい。
	2問	七本目「三方切り」の要義を記し、注意することを述べなさい。
四段	1問	日本剣道形「五行の構え(五つの構え)」について述べなさい。
	2問	十本目「四方切り」の要義を記し、注意することを述べなさい。
五段	1問	居合道演武の心得について述べなさい。
	2問	全剣連居合の審判・審査上の着眼点を述べなさい。

杖道

段別	問題題	
初段	1問	「全日本剣道連盟杖道」における礼法について述べなさい。
	2問	琉祖名及び「神道夢想流杖道」の発祥について述べなさい。
二段	1問	「全日本剣道連盟杖道」の制定形12本の名称を記入しなさい。
	2問	形の必要性について述べなさい。
三段	1問	杖道の指導精神について述べなさい。
	2問	目付について説明し、その必要性について述べなさい。
四・五段	1問	広島県で受審、受審者で問い合わせて下さい。
	2問	

学科試験は、剣道については日本剣道形、居合道・杖道、審判法については実技の合格者を対象に実施しますが、審査受付時に答案用紙を提出して下さい。

【注意】

- 答案用紙は**「B4版原稿用紙」**を使用し、問題毎に原稿用紙1枚(200字以上400字未満)に**自筆**で記入して下さい。
 ※ **「B4版原稿用紙」**を使用していない答案用紙が散見されますので注意してください。
- 答案用紙には1行目の書き出しに「受審段位等」、やや空けて「氏名」、2行目に「問題番号」を記入し、3行目から回答を記入して下さい。
 ※ 受験番号～受付係が記入するので、記入の必要無し。
 ※ 「受審段位等」・「氏名」・「問題番号」の記入漏れの無いよう注意して下さい。

※ 原稿用紙を折らずに見開きで右上をホッチキスで閉じて下さい。